

平成26年度 事業実施方針

我が国の社会・経済情勢には未だ厳しい状況であるが、このような状況から脱却し将来への明るい展望を拓くためには、新たな価値を生み出す科学技術に求められる役割は極めて大きいものがある。

県下の科学技術振興の中核的機構と位置づけられる当協会においては、県の科学技術政策と緊密な連携を図りつつ、学術研究助成事業や科学技術に関する普及啓発事業をはじめとする様々な公益事業を展開しており、ますます当協会の果たす役割は大きいものと考えられる。

兵庫県には、優れた技術やノウハウを持つ多彩なものづくり産業が数多く集まり、先端的な研究機関が多数立地するなど科学技術基盤の集積は質量ともに高く、特に、大型放射光施設SPring-8や本格稼働したスーパーコンピュータ「京」、X線自由電子レーザー「SACLA」の利用拡大が科学技術の発展につながっていくと確信する。

このような状況を踏まえ、引き続き兵庫県や地元自治体、商工会議所、大学の研究機関等との緊密な連携を図りつつ、より一層の効果的な事業選択・執行に努めながら、以下の観点に重点をおいた取り組みを行う。

1 科学技術の総合的な振興

兵庫県における創造的な科学技術の振興を図るため、県の科学技術政策との連動性を高めた県域における具体的推進方策に関する調査研究に取り組む。

協会創立以来の基幹的事業である科学技術に関する学術研究の助成については、本年度においても、研究者が自ら計画する独創性、発展性のある研究開発や若手研究者が萌芽的に計画する独創的かつ先駆的な研究に対して、学術研究助成を実施し、学術研究助成金の贈呈式とあわせて、受賞者による研究内容の発表会を行う。

2 科学技術の普及・啓発

協会では、「青少年の理科離れ対策」を目的とした青少年に対する普及啓発事業として、科学技術ミュージアム事業「科学学習体験ツアー」や「青少年のための科学の祭典」、「サイエンスボランティア」など各種事業を実施している。

引き続き、関係機関との連携を強化し、事業内容の充実を図るとともに、「ひょうご科学技術トピックスセミナー」・「青少年のための科学の祭典」等については、全県展開に向けた事業の実施・支援を行う。

また、兵庫県立大学及び神戸大学が実施する革新的な研究公立大学法人兵庫県立大学の研究プログラムに対しての支援、「国際フロンティアメッセ2014」への出展ブースを拡大する。

3 地域産業の技術開発力の強化・育成

播磨地域の産業活性化と技術高度化を図るため設置した「播磨産業技術支援センター」において、企業の技術課題解決のための技術相談・指導、播磨地域企業のOB技術者が保有している技術を中小企業等で有効に活用するため、中小企業等への派遣を行い、技術開発力強化等を支援する。

また、地域企業の新技術、新製品開発、新分野進出を促進する産学官連携の共同研究や地域企業に係る技術ニーズと兵庫県下の大学との研究シーズのマッチングの場の提供、企業等の技術高度化及び地域経済の活性化・強化のため、地元商工会議所等との共催事業を拡大する。

平成26年度 収支予算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	当初予算額	前年度補正予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	3,950	3,950	0
特定資産運用益	34,670	34,672	▲ 2
事業収益	4,953	4,716	237
受取補助金等	85,791	77,863	7,928
受取負担金	230	230	0
雑収益	439	486	▲ 47
経常収益計	130,033	121,917	8,116
(2) 経常費用			
事業費	118,436	106,005	12,431
役員報酬	2,560	2,560	0
給料手当	22,880	23,051	▲ 171
賞与引当金繰入額	826	829	▲ 3
福利厚生費	4,940	4,833	107
会議費	261	505	▲ 244
旅費交通費	2,497	1,772	725
通信運搬費	1,261	793	468
什器備品費	4,019	5,367	▲ 1,348
消耗品費	3,976	5,045	▲ 1,069
修繕費	129	335	▲ 206
減価償却費	0	581	▲ 581
印刷製本費	2,642	592	2,050
燃料費	0	51	▲ 51
光熱水料費	400	251	149
賃借料	4,801	4,428	373
保険料	16	53	▲ 37
諸謝金	8,302	4,486	3,816
租税公課	0	0	0
支払負担金	4,920	3,380	1,540
支払助成金	45,000	40,279	4,721
委託費	9,006	6,814	2,192
雑費	0	0	0
管理費	12,605	11,929	676
役員報酬	1,280	1,280	0
給料手当	1,718	1,987	▲ 269
福利厚生費	228	138	90
役員等報償費	0	0	0
会議費	60	32	28
渉外費	5	4	1
旅費交通費	1,100	491	609
通信運搬費	372	232	140
什器備品費	100	0	100
消耗品費	440	297	143
減価償却費	901	901	0
印刷製本費	200	366	▲ 166
広報宣伝費	40	30	10
光熱水料費	143	150	▲ 7
賃借料	1,017	934	83
保険料	43	42	1
諸謝金	200	0	200
租税公課	24	0	24
支払負担金	267	270	▲ 3
委託費	4,015	4,332	▲ 317
雑費	452	443	9
経常費用計	131,041	117,934	13,107

科 目	当初予算額	前年度補正予算額	増減
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 1,008	3,983	▲ 4,991
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	▲ 1,008	3,983	▲ 4,991
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
特定資産運用益	0	0	0
その他収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
その他損失	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	▲ 1,008	3,983	▲ 4,991
一般正味財産期首残高	177,853	173,870	3,983
一般正味財産期末残高	176,845	177,853	▲ 1,008
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	▲ 581	▲ 581	0
当期指定正味財産増減額	▲ 581	▲ 581	0
指定正味財産期首残高	1,978,335	1,978,916	▲ 581
指定正味財産期末残高	1,977,754	1,978,335	▲ 581
III 正味財産期末残高	2,154,599	2,156,188	▲ 1,589

資金調達及び設備投資の予算

(単位:千円)

科 目	当初予算額	前年度補正予算額	増 減
I 投資活動収支の部			
(1) 投資活動収入			
基本財産取崩収入	0	40	▲ 40
普通預金取崩収入	0	40	▲ 40
特定資産取崩収入	0	199,960	▲ 199,960
投資有価証券売却収入	0	0	0
普通預金取崩収入	0	100,000	▲ 100,000
定期預金取崩収入	0	99,960	▲ 99,960
減価償却引当預金取崩収入	0	0	0
固定資産売却収入	0	0	0
投資有価証券売却収入	0	0	0
投資活動収入計	0	200,000	▲ 200,000
(2) 投資活動支出			
基本財産取得支出	0	40	▲ 40
投資有価証券取得支出	0	40	▲ 40
特定資産取得支出	867	200,849	▲ 199,982
投資有価証券取得支出	0	199,940	▲ 199,940
定期預金支出	0	20	▲ 20
普通預金支出	0	0	0
減価償却引当預金支出	867	889	▲ 22
固定資産取得支出	0	0	0
投資有価証券取得支出	0	0	0
投資活動支出計	867	200,889	▲ 200,022
投資活動収支差額	▲ 867	▲ 889	22
II 財務活動収支の部			
(1) 財務活動収入			
借入金収入	1	0	1
短期借入金収入	1	0	1
財務活動収入計	1	0	1
(2) 財務活動支出			
借入金返済支出	1	0	1
短期借入金返済支出	1	0	1
財務活動支出計	1	0	1
財務活動収支差額	0	0	0

(注)借入限度額30,000千円とする。

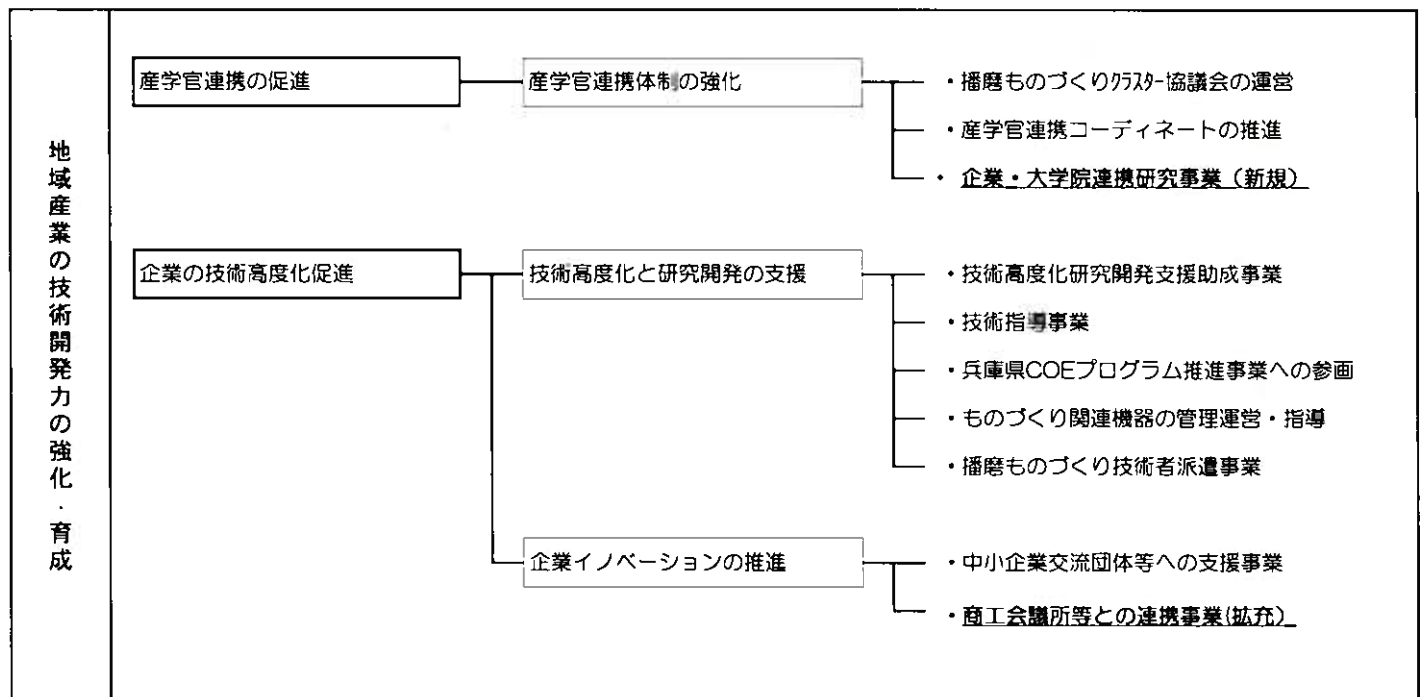
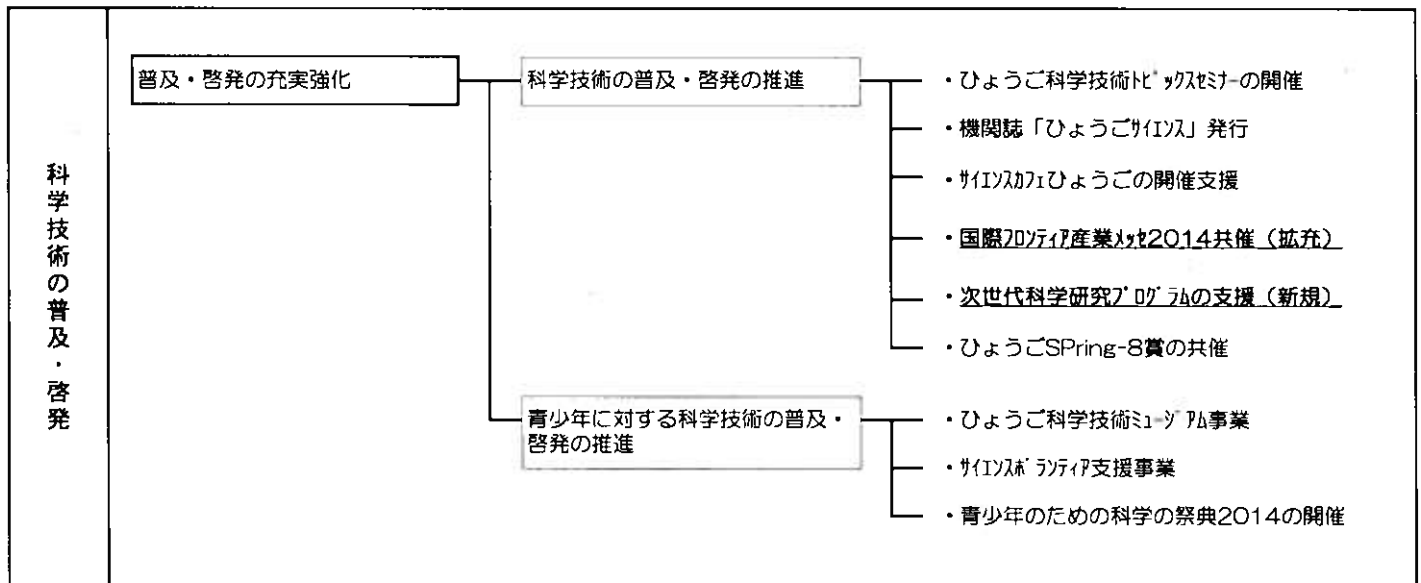
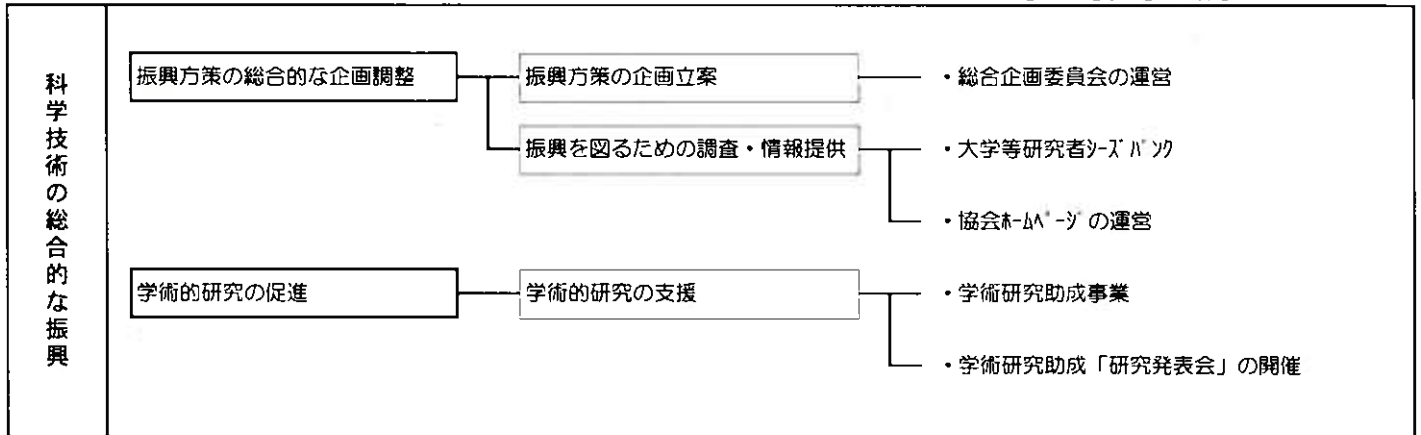
平成26年度 収支予算書内訳表
平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：千円)

科目	公益目的事業会計						法人会計	合計	
	調査研究事業	学術研究 支援事業	普及啓発事業	技術振興事業	地域産業 活性化事業	共通			小計
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	0	0	1,975	1,975	1,975	3,950
基本財産受取利息						1,975	1,975	1,975	3,950
特定資産運用益	0	0	0	14,358	6,730	6,791	27,879	6,791	34,670
科学技術振興基金受取利息						6,791	6,791	6,791	13,582
播磨産業活性化基金受取利息				14,358	6,730		21,088		21,088
事業収益	0	0	0	4,397	0	556	4,953	0	4,953
科学技術振興事業管理運営受託収益						556	556		556
ものづくり支援センター業務受託収益				4,397			4,397		4,397
受取補助金等	1,722	6,546	4,522	12,287	1,722	58,992	85,791	0	85,791
兵庫県交付金						58,992	58,992		58,992
ひょうご科学技術協会運営費補助	1,722	6,546	4,522	1,951	1,722		16,463		16,463
兵庫県COEプログラム推進事業補助金				9,756			9,756		9,756
受取補助金等振替額				580			580		580
受取負担金	0	0	0	230	0	0	230	0	230
共同研究負担金				230			230		230
雑収益	0	0	0	158	0	1	159	280	439
受取利息				158		1	159	280	439
経常収益計	1,722	6,546	4,522	31,430	8,452	68,315	120,987	9,046	130,033
(2) 経常費用									
事業費	3,376	48,190	20,130	36,679	10,061	0	118,436	0	118,436
役員報酬	320	640	640	640	320		2,560		2,560
給料手当	1,238	4,606	3,705	9,117	4,214		22,880		22,880
賞与引当金繰入額	0	826	0	0	0		826		826
福利厚生費	487	1,327	1,028	1,287	811		4,940		4,940
会議費	0	239	5	17	0		261		261
旅費交通費	50	156	733	1,157	401		2,497		2,497
通信運搬費	8	302	471	408	72		1,261		1,261
什器備品費	0	0	0	4,019	0		4,019		4,019
消耗品費	0	171	275	3,255	275		3,976		3,976
修繕費	0	0	0	129	0		129		129
減価償却費	0	0	0	0	0		0		0
印刷製本費	0	108	2,534	0	0		2,642		2,642
燃料費	0	0	0	0	0		0		0
光熱水料費	15	77	105	158	45		400		400
賃借料	58	569	891	2,676	607		4,801		4,801
保険料	0	0	0	0	16		16		16
諸謝金	0	2,813	458	3,591	1,440		8,302		8,302
租税公課	0	0	0	0	0		0		0
支払負担金	0	0	3,400	0	1,520		4,920		4,920
支払助成金	0	36,000	4,000	5,000	0		45,000		45,000
委託費	1,200	356	1,885	5,225	340		9,006		9,006
雑費	0	0	0	0	0		0		0

平成26年度事業の体系表

【主要事業】



1 科学技術の総合的な振興

1 振興方策の総合的な企画調整

(1) 振興方策の企画立案

産学官の連携のもとに、県域における科学技術の振興を総合的に推進するとともに、西播磨テクノポリス地域を中心に高度技術に立脚した工業開発を促進するため、協会が取り組むべき振興方策の企画立案などを行う。

ア 総合企画委員会の運営

産学官の有識者で構成する総合企画委員会を開催し、協会事業の基本方針や協会が実施する事業に関する助言を得るとともに、幅広く科学技術の振興方策について審議を行う。

(2) 振興を図るための調査・情報提供

協会の実施事業や今後取り組むべき事業を中心に県域における科学技術振興に向けた基本方策や具体的推進方策を得るため、調査・情報提供を行う。

ア 大学等研究者シーズバンク

県内の大学等研究機関の研究開発シーズを産業界に周知し、産学官連携による新産業の創出を図るため、研究開発シーズを調査するとともに調査結果をデータベースに反映し、当協会ホームページを通じて幅広く情報提供を行う。

イ 協会ホームページの運営

協会の活動状況や地域の産業・科学技術等の話題を広くPRするため、ホームページを設け、幅広く情報提供を行う。

2 学術的研究の促進

(1) 学術的研究の支援

基礎的・基盤的な研究から産業の高度化に貢献する応用的・実用的な研究及び若手研究者による創造的・萌芽的研究を奨励するため、研究資金を助成する。

ア 学術研究助成事業

県内に在勤・在住する研究者又は研究グループによる研究計画を公募し、独創性・発展性及び先駆性のある研究計画を選定し、その研究資金を助成する。

本年度は、平成25年度に選定した研究計画に研究助成金を交付するとともに、平成27年度に助成すべき研究計画を公募し、助成対象を選定する。

平成26年度助成金の交付 36件（1件の上限1,000千円）

イ 学術研究助成「研究発表会」の開催

平成26年度学術助成受賞者による「発表会」を受賞式と併せて行い、学術助成事業を発信する。

〔開催時期〕 平成26年5月19日（月） 〔開催場所〕 ラッセホール

II 科学技術の普及・啓発

1 普及・啓発の充実強化

科学技術への関心を高め、正しい知識の普及啓発を行うとともに、協会の活動を広くPRする。

(1) 科学技術の普及・啓発の推進

ア ひょうご科学技術トピックスセミナーの開催

一般県民を対象に、科学技術の最新的话题をわかりやすく解説するセミナーを開催する。平成26年度は、より多くの県民がセミナーに参加できるよう年1回開催から年2回開催する。

〔開催回数〕 2回 〔開催場所〕 神戸市内他

イ 機関誌「ひょうごサイエンス」の発行

協会の活動を広く一般にお知らせするとともに、科学技術に関する最新的话题を提供するため、機関誌「ひょうごサイエンス」を発行する。

・発行部数 機関紙 2,000部

ウ サイエンスカフェひょうごの開催支援

県民の科学技術に対する興味・関心を喚起するため、科学者などの専門家と県民が喫茶店や科学館・博物館等において少人数で気軽に科学などの話題について語り合える場として、サイエンスカフェを開催する「大学コンソーシアムひょうご神戸」に助成する。

〔開催回数〕 年間5回程度 〔開催場所〕 県下各地域の喫茶店や科学館・博物館等

エ 「国際フロンティア産業メッセ2014」の共催（拡充）

21世紀に飛躍する新産業の創出を促進するため、「国際フロンティア産業メッセ2014」の構成団体として共催する。当協会は各種事業展開で密接な連携のある県下大学、企業にも参加を呼びかけ、「ひょうご科学技術協会グループ」として出展し、それぞれの機関に係る特徴ある開発製品や事業等の紹介、普及・啓発を図る。

〔開催時期〕 平成26年9月4日（木）～5日（金） 〔開催場所〕 神戸国際展示場2号館

オ 次世代科学研究プログラムの支援（新規）

兵庫県立大学が実施するCOI-T（革新的イノベーション創出プログラムのトライアル）や、神戸大学が実施する地域イノベーション戦略支援プログラムとして採択された下記の取組を支援する。

① 次世代水素触媒の研究

・研究内容

水素発生、水素利用において高価な希少金属を使用しない革新的な高効率水素触媒電極の開発

・構成団体

兵庫県立大学、大阪市立大学、大阪府立大学、理化学研究所、新産業創造研究機構、エスペック(株)など

・事業期間

平成 25～26 年度

② 「革新的膜工学を核としたグリーンイノベーションの創出」プロジェクト

・プロジェクトの概要

革新的分離膜の開発と水ビジネス分野における産業化を推進するグリーンイノベーション拠点の形成

・構成団体

神戸大学、兵庫県立大学、兵庫県、新産業創造研究機構、ひょうご科学技術協会、積水化学工業(株)、(株)神鋼環境ソリューションなど

・事業期間

平成 24～28 年度

カ ひょうご SPring-8 賞の共催

県内の最先端科学技術基盤を活用した研究成果の普及啓発を図るため、大型放射光施設 SPring-8 を活用した研究成果の中から、産業への応用を含め、社会経済全般の発展に寄与することが期待される成果をあげた研究者・団体を顕彰する「ひょうご SPring-8 賞」を関係団体と共に実施する。

(2) 青少年に対する科学技術の普及・啓発の推進

ア ひょうご科学技術ミュージアム事業

青少年等の科学技術学習の推進を図るため、地域の企業・研究機関などを生きた科学技術が学べる「1つの科学技術ミュージアム」に見立て、工場見学及び各種の科学実験・工作を行う「科学学習体験ツアー」を関係団体と共に開催する。

- ・小中学生のための科学学習体験ツアー（工場見学、野外観察、学習会等）

【開催回数】 5回程度 【参加定員】 200人（各回40人）

イ サイエンスボランティア支援事業

自然科学系の教育者、研究者及びそのOB等が、主として小学校高学年から中学校低学年を対象に、学校、企業、地域で行う実験教室などの科学学習分野におけるボランティア活動に対して、助成金を交付して、青少年の科学技術への関心と正しい理解を促進する。

平成 26 年度助成金の交付 10 件（1 件 100 千円を限度）

ウ 青少年のための科学の祭典 2014 の開催

楽しい科学実験や科学工作などを通じ、子どもたちが自ら体験し、科学に対する興味や関心を高めるため「青少年のための科学の祭典 2014」を県下 7 会場（神戸、東はりま、北はりま、姫路、豊岡、丹波、淡路）において関係団体と共に開催する。

【開催時期】 平成 26 年 7 月～9 月

【開催場所】 神戸市立青少年科学館、兵庫県立大学工学キャンパスなど 7 会場

III 地域産業の技術開発力の強化・育成

西播磨テクノポリス圏域を中心とする播磨地域の産業活性化と技術高度化を図るため、技術参与や技術アドバイザー等を配置し、大学や研究機関等と地域産業の交流・連携を促進し、高度技術の開発又は利用による新事業の創出や新分野への進出を支援する。

1 産学官連携の促進

(1) 産学官連携体制の強化

ア 播磨ものづくりクラスター協議会の運営

播磨地域に積極的な新事業・新製品開発の創出を可能とする産業クラスターの形成を目指して設置された「播磨ものづくりクラスター協議会」の運営を通じて、ものづくり技術の最新情報を提供する「ものづくりシンポジウム 2014」を開催すると共に、各種ものづくり機器セミナーの開催、さらには産学・産産間など新たな連携による共同研究・技術開発を促進する。

イ 産学官連携コーディネートの推進

産学官連携の専門人材を配置し、大学等の研究機関の研究開発シーズと企業の研究開発ニーズのマッチングサポートや産学連携による共同研究のコーディネートを推進するほか、産学官の連携を促進する。

ウ 企業・大学院連携研究事業（新規）

兵庫県内の研究開発型ものづくり企業における技術ニーズと兵庫県内大学における研究シーズをマッチングさせ、その産学共同研究の実施に際して助成する。それにより、大学院生の資質向上並びに地域産業の活性化及び企業の技術の向上を図る。

2 企業の技術高度化促進

(1) 技術高度化と研究開発の支援

ア 技術高度化研究開発支援助成事業

播磨地域に事業所を有する中小企業等が、新分野進出や新事業創出を図るために取り組む新技術・新製品の研究開発事業に対し、助成金を交付する。

[助成内容]、100万円/社を限度とし総額 500万円

イ 技術指導事業

中小企業の幅広いニーズや個々の企業が抱える多種多様な技術課題について速やかに対処・解決するため、機械工学やバイオ技術等の専門家を技術参与やシニアアドバイザーとして招聘し、播磨地域における積極的な企業訪問を行い、技術相談・指導に対処するとともに企業ニーズと大学等のシーズとのマッチングに基づいた産学連携の研究開発の推進と機能強化を図る。

ウ 兵庫県COEプログラム推進事業への参画

企業の新技術や新製品開発を目的とし、国及び県等の各種提案公募型に係る産学官共同研究を積極的に推進するため、技術参与、シニアアドバイザー等により効率的な共同研究のコーディネートを促進する。

[平成 26 年度研究プロジェクト]

プロジェクト名	参画機関	採択を受けた助成制度等
超弾塑性チタン合金を用いた長寿命でメンテナンスフリーの金属製高性能ポンプの開発	(株)タクミナ、兵庫県立大学、兵庫県立工業技術センター、(公財)ひょうご科学技術協会	平成 25、26 年度兵庫県 COE プログラム推進事業 (本格的な研究開発移行枠)

※当協会は、本共同研究の代表機関(研究管理法人)として参画。

エ ものづくり関連機器の管理運営・指導

兵庫ものづくり支援センター播磨の管理運営の委託を受けて、3次元CAD/CAEシステム等ものづくり関連機器の管理運営及び技術指導を行うとともに、機器利用講習会を開催する。

オ 播磨ものづくり技術者派遣事業

「ものづくり県・兵庫」を長年にわたり支えてきた企業OB技術者によるその技術を中小企業等で有効に活用するため、平成25年度に創設した播磨ものづくり技術者派遣事業に係る技術アドバイザーとして招聘し、各種企業ニーズの把握と共にそれら企業への派遣により速やかな問題解決を図る。

兵庫県、(公社)兵庫工業会、姫路ものづくり支援センター等と連携を図り、効果的に事業を推進する。

[H26年2月末登録者数：15名] [H26年度目標件数：25社]

(2) 企業イノベーションの推進

ア 中小企業交流団体等への支援事業

新たな事業創出を目指す「はりま産学交流会」が実施する「創造例会」を共催すると共に、中小企業交流団体等が播磨地域の産業技術高度化を図るため実施する講演会・研修会等、技術交流に係る各種事業を支援する。

[内 容]

- ・はりま産学交流会事業の支援
- ・21世紀播磨科学技術フォーラム事業の支援
- ・(一社)兵庫工業会に係るビジネスマッチング事業の支援 他

イ 商工会議所等との連携事業(拡充)

地域経済の活性化、企業の技術高度化の促進を目的として、播磨地域の商工会議所だけでなく商工会とも共同し、ものづくり基盤技術に関するセミナー、研究会、企業視察、販路開拓等のための各種事業を行う。

[内 容]

- 姫路商工会議所；販路開拓セミナーの開催 等
 - 相生商工会議所；現場改善セミナーの開催 等
 - 赤穂商工会議所；人材活性化セミナー開催 等
 - 龍野商工会議所；現場改善及び人材活性化セミナー開催 等
 - 姫路市商工会
 - 福崎町商工会
 - 市川町商工会
 - 神河町商工会
 - 宍粟市商工会
 - たつの市商工会
 - 太子町商工会
 - 上郡町商工会
 - 佐用町商工会
- 現場改善セミナーの開催 等
- 人材活性化セミナー開催 等
- 人材活性化セミナー開催 等
- 現場改善セミナーの開催 等